

令和4年度

自治会アンケート調査結果について

令和5年2月

鹿角市市民部生活環境課

調査の概要

1. 調査目的

コロナ禍による自治会活動の縮小や少子高齢化、市民ニーズの多様化、コミュニティ意識の希薄化など自治会を取り巻く状況は変化してきていますが、このような中で、近年頻発する豪雨災害などの自然災害に対応するためには、地域住民相互の“絆”でお互いを支え合う力が必要になってきています。

本市では「共働」を基本姿勢に掲げ、第7次総合計画を推進しており、多様な主体の力で共に発展するまちづくりを進めていくうえで、自治会などの住民自治組織が果たす役割は大きく、その活性化を図っていきたいと考えています。

本調査では、自治会の組織運営や活動内容に関する実態を把握することで、今後の自治会活動を活性化することを目的としています。

2. 調査方法

「基礎調査票」と「アンケート調査票」の2種類。

- ・基礎調査票は、令和2年度調査時回答から変更があった場合に回答内容の訂正を依頼。
- ・アンケート調査票は、設問を58問とし、回答を依頼。

3. 実施期間

令和4年6月30日（木）～9月16日（金）

4. 調査対象

市内188自治会（各自治会長に回答を依頼。）

5. 調査結果

送付数 188自治会

回答数 188自治会

回答率 100%

6. アンケート集計結果の公表について

本調査の集計結果は、各自治会に配付するほか、市ホームページ上で公開します。

その際、自治会名の記載は行わず（問26を除く）、統計的に取り扱うこととします。なお、集計結果に記載された活動内容を参考にしたいという自治会の申し出等があった場合、個別に自治会を紹介することがあります。

目 次

基礎調査結果

自治会の構成	1～ 2
自治会の組織体制の状況	3
会計年度	4
地縁団体認可状況	4
所有財産	4
所有財産の管理状況	4

アンケート調査結果

会長や役員について

問 1. 会長の年齢について	5
問 2. 会長歴（通算）について	5
問 3. 会長の選任方法について	6
問 4. 会長や役員の交代を円滑に行うための工夫について	6
問 5. 会長の任期について	6
問 6. 役員会の開催頻度について	7
問 7. 自治会業務の引継ぎについて	7
問 8. 自治会業務の引継ぎの方法について	7～ 8
問 9. 会長及び役員の報酬・謝礼について	8

年会費について

問 1 0. 年会費の徴収について	8～ 9
問 1 1. 年会費の減額について	9
問 1 2. 年会費の徴収方法について	10

会員名簿について

問 1 3. 会員名簿の作成について	10
問 1 4. 会員名簿の更新時期について	10
問 1 5. 会員名簿の作成方法について	11
問 1 6. 会員名簿の取り扱いについて	11

自治会館について

問 1 7. 自治会館の有無について	12
問 1 8. 自治会館の所有状況について	12
問 1 9. 自治会館の建設時期について	12
問 2 0. 自治会館運営上の課題について	13

問 2 1. 自治会館の建設予定について	14
問 2 2. 自治会活動（総会など）を行う拠点について	14

自治会活動について

問 2 3. 自治会活動について	15～16
問 2 4. 自治会を運営する上での悩みについて	16
問 2 5. 自治会での課題解決について	17
問 2 6. 親交がある自治会などについて	17～20
問 2 7. 自治会の統合・再編について	21

自治会運営によるIT化について

問 2 8. 自治会連絡のSNSなどの活用について	22
問 2 9. ITを活用している取り組みについて	22
問 3 0. IT化を進める上での課題について	22～23
問 3 1. IT化を進める際に期待する市の支援制度について	23

自治会への加入について

問 3 2. 自治会への加入率について	24
問 3 3. 居住区域に住んでいない会員について	24
問 3 4. 加入促進の取り組みについて	24

自治会の連合組織について

問 3 5. 地区連合組織（自治会の連合体）への加入について	25
問 3 6. 地区連合組織の必要性について	25
問 3 7. 地区連合組織の役割について	25

地域づくり協議会等について

問 3 8. 市民センター事業について	26
問 3 9. 地域づくり協議会等に期待することについて	26

広報等配付物の配付状況や取り扱いについて

問 4 0. 広報等配付物の範囲について	27
問 4 1. 広報の配付方法について	27
問 4 2. 広報以外の配付物について	27
問 4 3. 広報等配付物の取り扱いに関する意見・要望について	28

防災について

問 4 4. 自主防災組織について	28
問 4 5. 防災訓練について	28
問 4 6. 緊急連絡体制の整備について	29
問 4 7. 市のメール配信システムについて	29

問 4 8 . 自治会区域内の危険な場所について	29～31
------------------------------------	-------

自治会を支援する制度について

問 4 9 . 自治会振興交付金について	31
問 5 0 . 自治会元気づくり応援補助制度について	32
問 5 1 . 自治会館建設事業費補助制度について	32～33
問 5 2 . 集落活動応援事業の利用について	33
問 5 3 . 集落支援員活動事業の活用について	34
問 5 4 . 地域づくりリーダー研修会への要望について	34
問 5 5 . 新たに自治会を応援する支援制度等の意見・要望について . . .	35

自治会の特徴・魅力・課題などについて

問 5 6 . 自治会のシンボル・資源・誇りについて	35～36
問 5 7 . 自治会内の課題について	37
問 5 8 . その他自治会に関する要望や意見などについて	38

基礎調査結果

自治会の構成

自治会加入の状況	R4	R2
全世帯	12,623	12,878
自治会加入世帯	9,459	9,789
自治会非加入世帯	3,164	3,089
加入率	74.9%	76.0%

※「全世帯」は住民基本台帳による世帯数(各年7月末現在)

全12,623世帯のうち、「自治会加入世帯」が9,459世帯、「自治会非加入世帯」が3,164世帯、「加入率」は74.9%となりました。令和2年度の調査時より、「自治会加入世帯」が減少し、「加入率」も減少しました。

① 班数

班数	R4		R2	
	自治会数	割合	自治会数	割合
1～5 班	104	55.3%	103	55.1%
6～10 班	68	36.2%	65	34.7%
11～15 班	11	5.8%	13	7.0%
16 班以上	5	2.7%	6	3.2%
計	188	100%	187	100%

自治会の構成について、前回調査と同様に、「1～5班」の割合が最も多く、「1～10班」の割合が9割以上となりました。

② 会員世帯数

会員世帯数	R4		R2	
	自治会数	割合	自治会数	割合
1～30 世帯	63	33.5%	58	31.0%
31～50 世帯	50	26.6%	51	27.3%
51～100 世帯	58	30.9%	59	31.6%
101～150 世帯	13	6.9%	15	8.0%
151～200 世帯	4	2.1%	3	1.6%
201 世帯以上	0	0.0%	1	0.5%
計	188	100%	187	100%

会員世帯数について、前回調査から「1～50世帯」の自治会数が増加しています。

③ 会員数

会員数	R4		R2	
	自治会数	割合	自治会数	割合
1～50 人	37	19.7%	32	17.2%
51～100 人	50	26.6%	50	26.8%
101～150 人	35	18.6%	37	19.8%
151～200 人	20	10.6%	21	11.2%
201～250 人	20	10.6%	20	10.7%
251～300 人	8	4.3%	10	5.3%
301～350 人	4	2.1%	3	1.6%
351～400 人	4	2.1%	4	2.1%
401 人以上	8	4.3%	9	4.8%
未記入	2	1.1%	1	0.5%
計	188	100%	187	100%

自治会員数について、前回調査と同様に、「51～100人」が2割以上となりました。また、全体的に自治会ごとの世帯数が減少しており、「1～50人」の割合が増加しました。

④ 65 歳以上のみの世帯(高齢者世帯)がある自治会

65 歳以上のみの世帯数	R4		R2	
	自治会数	割合	自治会数	割合
25 世帯以下	135	71.8%	136	72.7%
26～50 世帯	38	20.2%	39	20.9%
51～75 世帯	9	4.8%	7	3.7%
76～100 世帯	2	1.1%	2	1.1%
101 世帯以上	0	0.0%	0	0.0%
未記入	4	2.1%	3	1.6%
計	188	100%	187	100%

※世帯数は自治会が把握している数

⑤ 一人暮らしで 65 歳以上の世帯(独居高齢者世帯)がある自治会

一人暮らしで 65 歳以上の世帯数	R4		R2	
	自治会数	割合	自治会数	割合
10 世帯以下	142	75.6%	145	77.6%
11～20 世帯	34	18.1%	31	16.6%
21～30 世帯	4	2.1%	4	2.1%
31～40 世帯	1	0.5%	1	0.5%
41～50 世帯	0	0.0%	0	0.0%
51 世帯以上	1	0.5%	1	0.5%
未記入	6	3.2%	5	2.7%
計	188	100%	187	100%

※世帯数は自治会が把握している数

⑥ 65 歳以上のみの世帯の状況

65 歳以上のみの世帯の状況	R4		R2	
	世帯数	割合	世帯数	割合
65 歳以上のみの世帯の合計	3,684	38.9%	3,569	36.5%
65 歳以上のみの世帯の合計のうち一人暮らしの世帯	1,367	14.5%	1,303	13.3%
自治会加入世帯	9,459	—	9,789	—

※自治会加入世帯に対する割合

※各世帯数は自治会が把握している数

高齢者世帯について、自治会加入世帯の約4割となっています。また、独居高齢者世帯数については、自治会加入世帯の1割以上となっており、前回調査より世帯数、割合ともに増加しました。

自治会の組織体制の状況

役員の体制	全体 人数	男性		女性	
		人数	割合	人数	割合
会長	188	187	99.5%	1	0.5%
副会長	226	204	90.3%	12	5.3%
会計	192	151	78.6%	27	14.1%
監査	318	261	82.1%	42	13.2%
班長	997	567	56.9%	131	13.1%
その他	256	208	81.3%	32	12.5%
計	2,177	1,578	72.5%	245	11.3%

※全体人数には男女別が不明な人数も含まれています

※割合は各役員の全体人数に対する割合

組織体制の有無	R4		R2	
	自治会数	割合	自治会数	割合
有り	127	67.6%	127	67.8%
無し	61	32.4%	38	20.4%
未記入	0	0.0%	22	11.8%
計	188	100%	187	100%

※「組織体制有り」は下記の組織を1つ以上結成している自治会

組織体制	R4(127 自治会)		R2(127 自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
青年会のある自治会	51	40.2%	55	43.3%
婦人会のある自治会	61	48.0%	68	53.5%
子ども会のある自治会	113	89.0%	117	92.1%
老人クラブのある自治会	60	47.2%	64	50.4%
その他	18	14.2%	15	12.6%

※組織体制があると回答した自治会に対しての割合

組織体制について、「有り」の自治会数は前回調査と同様ですが、各組織を結成している自治会数は減少しています。

会 計 年 度

会計年度	R4		R2	
	自治会数	割合	自治会数	割合
1月～12月	72	38.3%	70	37.5%
2月～1月	6	3.2%	3	1.6%
3月～2月	6	3.2%	6	3.2%
4月～3月	94	50.0%	92	49.2%
5月～4月	0	0.0%	1	0.5%
8月～7月	1	0.5%	0	0.0%
11月～10月	1	0.5%	1	0.5%
12月～11月	6	3.2%	3	1.6%
未記入	2	1.1%	11	5.9%
計	188	100%	187	100%

会計年度について、「4月～3月」、「1月～12月」の割合の合計が約9割となり、ほとんどが会計年度のスタートを4月もしくは1月に設定しています。

地 縁 団 体 認 可 状 況

地縁団体認可状況	R4		R2	
	自治会数	割合	自治会数	割合
有	74	39.4%	73	39.0%
無	114	60.6%	114	61.0%
計	188	100%	187	100%

認可地縁団体として法人格を取得した自治会は、前回調査から1自治会增加し、全体の約4割が地縁団体に認可されています。

所 有 財 産

所有財産	R4		R2	
	自治会数	割合	自治会数	割合
有	95	50.5%	76	40.6%
未記入、不明	93	49.5%	111	59.4%
計	188	100%	187	100%

※下記の「宅地」、「山林」、「その他」のいずれかに回答している自治会を「有」としています。

所 有 財 産 の 管 理 状 況

財産管理状況	R4(95自治会)		R2(76自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
宅地(会館用地含む)	81	85.3%	58	76.3%
山林	47	49.5%	34	44.7%
その他	33	34.7%	24	31.6%

※「所有財産有」と回答した自治会に対する割合。複数回答可

財産を所有している自治会のほとんどが「宅地(会館用地含む)」、半数が「山林」を所有しています。その他として、グラウンドや神社などがありました。

アンケート調査結果

会長や役員について

問1 会長の年齢について

会長の年齢	R4		R2	
	自治会数	割合	自治会数	割合
20歳代	0	0.0%	1	0.5%
30歳代	3	1.6%	2	1.1%
40歳代	6	3.2%	9	4.8%
50歳代	18	9.6%	10	5.3%
60歳代	96	51.0%	101	54.1%
70歳代以上	65	34.6%	63	33.7%
未記入	0	0.0%	1	0.5%
計	188	100%	187	100%

会長の年齢について、前回調査より「40歳代」、「60歳代」の割合が減少し、「50歳代」、「70歳代以上」の割合が増加しています。また、「60歳代」と「70歳代以上」の合計は8割以上となっています。

問2 会長歴(通算)について

会長歴	R4		R2	
	自治会数	割合	自治会数	割合
1年未満	41	21.8%	42	22.4%
1年以上3年未満	47	25.0%	51	27.2%
3年以上5年未満	35	18.6%	30	16.1%
5年以上10年未満	42	22.4%	43	23.0%
10年以上15年未満	18	9.6%	13	7.0%
15年以上20年未満	4	2.1%	5	2.7%
20年以上	1	0.5%	1	0.5%
未記入	0	0.0%	2	1.1%
計	188	100%	187	100%

会長歴(通算)について、前回調査より「3年以上5年未満」、「10年以上15年未満」の割合が増加し、「1年以上3年未満」の割合が減少しています。

問3 会長の選任方法について(複数回答あり) ※「割合」は全自治会に対する割合

会長の選任方法	R4(188自治会)		R2(187自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
推薦	85	45.2%	84	44.9%
役員の中で互選	64	34.0%	54	28.9%
輪番制	16	8.5%	19	10.2%
選挙	17	9.0%	26	13.9%
抽選	1	0.5%	0	0.0%
その他	10	5.3%	11	5.9%
未記入	2	1.1%	0	0.0%

会長の選任方法について、「推薦」が最も多く、6割以上となっており、「互選」、「輪番制」、「選挙」、「抽選」の割合も増加しています。多くの自治会で、いくつかの方法を併用して選任していることが分かります。

問4 会長や役員の交代を円滑に行うための工夫について

※自由記載(主な回答を抜粋)

前会長及び役員との会議の上、決定した。
4年間の役員を選挙で人選。
事前協議員会の場を5年に1度設け、大改選を行う。5年分の役員を決める。
事前に役員会を開き、人選協議をしている。
総会での総選挙。1番の票を取った人から順に役員となる。実際は半数ずつの改選となるので、高得点者から順に役員となる。
順番を決めている。
役員の若返りを図っている。
役員交代の際は次の役員を前任者が推薦し、役員会の承認後総会で公表する。
総会前にその年の担当の班で集まり、班の中で人選協議をしている。
各班から輪番で役員が選出され、互選で選出。

会長や役員の交代を円滑に行うためにしている工夫について、「事前に役員会で協議をしている」という取り組みが最も多くありました。また、会長や役員の決定について、「苦勞している」と回答した自治会も多くありました。

問5 会長の任期について

会長の任期	R4		R2	
	自治会数	割合	自治会数	割合
1年	26	13.8%	24	12.8%
2年	133	70.8%	128	68.5%
3年	9	4.8%	12	6.4%
4年	0	0.0%	2	1.1%
5年以上	0	0.0%	0	0.0%
決まっていない	20	10.6%	21	11.2%
未記入	0	0.0%	0	0.0%
計	188	100%	187	100%

会長の任期について、「2年」の割合が最も高くなりました。8割を超える自治会が任期を1年～2年としていますが、問2の結果と照らし合わせると、任期を終了しても再度会長を務めている方が多いことが分かります。

問6 役員会の開催頻度について

役員会の頻度	R4		R2	
	自治会数	割合	自治会数	割合
毎月	35	18.6%	42	22.4%
隔月	39	20.7%	37	19.8%
半年ごと	24	12.8%	22	11.8%
その他	81	43.1%	81	43.3%
未記入	9	4.8%	5	2.7%
計	188	100%	187	100%

※その他(主な回答を抜粋)

事業ごと及び半年に1回行っている。
協議案件が発生時、会長より声かけをし、行っている。
自治会事業前、災害の後など年6回くらい行っている。
必要に応じて(事業開催前等)行っている。

1年間の役員会の開催頻度について、「隔月」、「半年ごと」の割合は前回調査と大きく変わりませんでしたが、「毎月」の割合が減少しました。その他として、「必要に応じて」、「事業にあわせて開催」などがありました。

問7 自治会業務の引継ぎについて

役員交代時の引継ぎについて	R4		R2	
	自治会数	割合	自治会数	割合
行っている	95	50.6%	96	51.4%
十分ではないが行っている	73	38.8%	73	39.0%
全く行っていない	10	5.3%	11	5.9%
未記入	10	5.3%	7	3.7%
計	188	100%	187	100%

役員交代時の引継ぎについて、「行っている」、「十分ではないが行っている」の割合は約9割となっています。

問8 自治会業務の引継ぎの方法について(複数回答あり)

引継ぎの方法	R4(168自治会)		R2(169自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
マニュアル	29	17.3%	28	16.6%
マニュアル以外の紙文書	71	42.3%	72	42.6%
口頭	124	73.8%	141	83.4%
電子データ	31	18.5%	27	16.0%
その他	4	2.4%	5	3.0%
未記入	2	1.2%	4	2.4%

※問7で「行っている」または「十分ではないが行っている」と回答した自治会に対する割合

※自由記載（主な回答を抜粋）

新旧役員で各役員分について確認し合う。
紙文書及び口頭で引継ぎを行っている。
新たに役員になって不明な点等は前任者に尋ねたり、新役員の協議で対応している。
決まった形はとらないが、電子データ、紙、口頭で行っている。
議案書と口頭で行っている。
資料、簿冊で引き継ぐ。

引継ぎの方法について、「口頭」の割合が最も高く、引継ぎを行っている自治会の7割以上が行っており、また、多くの自治会が口頭とマニュアル、マニュアルとデータといったように、複数を組み合わせた引継ぎを行っています。そのほか、「資料・簿冊の引き渡し」などで行っています。

問9 会長および役員の報酬・謝礼について

報酬・謝礼の支出	R4		R2	
	自治会数	割合	自治会数	割合
している	139	73.9%	134	71.7%
していない	47	25.0%	51	27.2%
未記入	2	1.1%	2	1.1%
計	188	100%	187	100%

会長および役員に対しての報酬や謝礼の支出について、「している」の割合が前回調査より増加しています。

支出している役職	R4(139自治会)		R2(134自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
会長	127	91.4%	129	96.3%
副会長	77	55.4%	81	60.4%
会計	108	77.7%	105	78.4%
監査	30	21.6%	33	24.6%
班長	29	20.9%	28	20.9%
その他	43	30.9%	42	31.3%

※報酬・謝礼の支出をしていると回答した自治会数に対する割合

支出している役職については「会長」、「会計」、「副会長」の順に多くなっています。

年会費について

問10 年会費の徴収について

年会費の徴収	R4		R2	
	自治会数	割合	自治会数	割合
している	181	96.3%	178	95.2%
していない	5	2.6%	8	4.3%
未記入	2	1.1%	1	0.5%
計	188	100%	187	100%

年会費の徴収について、「している」の割合が9割を超え、ほとんどの自治会で年会費を徴収しています。

年会費内訳	R4(181自治会)		R2(178自治会)		年会費の金額	自治会数
	自治会数	割合	自治会数	割合		
500円～1,000円	1	0.6%	6	3.4%	12,000円	45
1,001円～5,000円	20	11.0%	14	7.9%	6,000円	24
5,001円～10,000円	71	39.2%	68	38.2%	10,000円	16
10,001円～20,000円	79	43.6%	74	41.5%	8,400円	8
20,001円～30,000円	8	4.4%	10	5.6%	7,000円	6
30,001円以上	2	1.1%	1	0.6%	7,200円	6
未記入	0	0.0%	5	2.8%	15,000円	6
					18,000円	6
					20,000円	6

※「年会費の徴収をしている」と回答した自治会に対する割合

(回答が多い上位9位まで)

会費の内訳について、「5,001円～10,000円」と「10,001円～20,000円」の割合が他の内訳金額より高く、約8割の自治会が年会費を5,001円～20,000円としています。また金額で回答数が最も多かったのは「12,000円」が45自治会、次いで「6,000円」が24自治会でした。

問11 年会費の減額について

自治会費減額	R4(181自治会)		R2(178自治会)	
	割合	割合	自治会数	割合
している	53	29.3%	43	24.2%
していない	128	70.7%	132	74.2%
未記入	0	0.0%	3	1.7%

※問10で「年会費の徴収をしている」と回答した自治会に対する割合

減額している場合、その理由(複数回答あり)

減額の理由	R4(53自治会)		R2(43自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
高齢者夫婦の世帯	7	13.2%	11	25.6%
高齢者独居世帯	26	49.1%	15	34.9%
生活困窮	22	41.5%	16	37.2%
その他	14	26.4%	10	23.3%
未記入	2	3.8%	2	4.7%

※問11で「している」と回答した自治会に対する割合

会員(一般世帯)の年会費の減額について、「している」の割合が増加しています。約3割が「している」と回答しましたが、その理由については「高齢者独居世帯」、「生活困窮」の割合が高く、その他の減額理由として、「自治会区域外に居住している会員」、「借家世帯」、「福祉施設に入所して誰もいない会員」などがありました。

問12 年会費の徴収方法について(複数回答あり)

会費の徴収方法	R4(181自治会)		R2(178自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
年1回まとめて徴収している	84	46.4%	84	47.2%
月ごとに徴収している	52	28.7%	53	29.8%
その他	49	27.1%	49	27.5%
未記入	1	0.6%	7	3.9%

※問10で「年会費の徴収をしている」と回答した自治会に対する割合

※自由記載(主な回答を抜粋)

3か月ごとに徴収している。
年2回に分けて徴収している。
年3回に分けて徴収している。
要望があれば分割可能。
年一括払いを基本に各会員の希望に合わせている。
原則月ごとであるが、会員の希望に合わせて2か月、6か月、1年などの場合も可能としている。

会費の徴収方法について、「年1回まとめて徴収している」や「月ごとに徴収」といった方法のほか、自由記載にあるように、「3か月ごとに徴収」や「会員の希望する方法により徴収」という回答もありました。

会員名簿について

問13 会員名簿の作成について

会員名簿を作成しているか	R4		R2	
	自治会数	割合	自治会数	割合
はい	140	74.5%	146	78.1%
いいえ	47	25.0%	36	19.2%
未記入	1	0.5%	5	2.7%
計	188	100%	187	100%

会員名簿の作成について、7割以上の自治会で名簿を作成しています。

問14 会員名簿の更新時期について

名簿の更新時期	R4(140自治会)		R2(146自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
1年更新	100	71.4%	98	67.2%
2年更新	11	7.9%	11	7.5%
3年更新	2	1.4%	2	1.4%
4年更新	0	0.0%	1	0.7%
5年更新以上	2	1.4%	4	2.7%
随時更新	25	17.9%	26	17.8%
未記入	0	0.0%	4	2.7%

※問13で「はい」と回答した自治会に対する割合

会員名簿の更新時期について、「1年更新」としている自治会が最も多く、約8割の自治会で「1～2年更新」としています。

問15 会員名簿の作成方法について

名簿作成に同意を得られた世帯のみ掲載している。
全世帯、世帯主名と電話番号を掲載している。
従来の会員はそのままで掲載し続け、新規の会員は承諾を得て掲載している。
班長引継ぎ用と役員用として作成している。
世帯主のみ掲載している。
班ごとに用紙を配付して提出された世帯のみを掲載。(同居家族名簿)

会員名簿の作成方法について、「数十年前に作られた名簿を電子化し、随時更新している」といった回答もありました。

問16 会員名簿の取り扱いについて

名簿の取扱い	R4(140自治会)		R2(146自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
会長のみ所持している	27	19.3%	40	27.4%
役員のみ配付している	23	16.4%	22	15.0%
加入世帯全戸に配付している	75	53.6%	74	50.7%
その他	14	10.0%	8	5.5%
未記入	1	0.7%	2	1.4%

※問13で「はい」と回答した自治会に対する割合

作成した会員名簿の取り扱いについて、「加入世帯全戸に配付している」の割合が最も高くなりました。

自治会館について

問17 自治会館の有無について

会館の有無	R4		R2	
	自治会数	割合	自治会数	割合
ある	150	79.8%	153	81.8%
ない	36	19.1%	34	18.2%
未記入	2	1.1%	0	0.0%
計	188	100%	187	100%

自治会館の有無について、約8割が「ある」と回答しました。

問18 自治会館の所有状況について

会館の所有状況	R4(150自治会)		R2(153自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
会館を所有している	127	84.6%	124	81.0%
他の自治会と共有している	4	2.7%	5	3.3%
市から借りている	16	10.7%	17	11.1%
市以外から借りている	1	0.7%	3	2.0%
その他	2	1.3%	3	2.0%
未記入	0	0.0%	1	0.6%

※問17で「自治会館がある」と回答した自治会に対する割合

自治会館の所有状況について、「会館を所有している」が最も多い結果となりました。

問19 自治会館の建設時期について

会館建設時期	R4(150自治会)		R2(153自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
昭和11年～29年	4	2.7%	2	1.3%
昭和30～49年	32	21.3%	33	21.5%
昭和50～63年	47	31.4%	42	27.4%
平成元年～10年頃	32	21.3%	35	22.9%
平成11年～20年頃	15	10.0%	14	9.2%
平成21年以降	5	3.3%	3	2.0%
不明	6	4.0%	8	5.2%
未記入	9	6.0%	16	10.5%

※問17で「自治会館がある」と回答した自治会に対する割合

自治会館の建設時期について、「昭和50～63年」の割合が高くなっています。また約6割の自治会館が建築から30年以上経過しています。

問20 自治会館運営上の課題について(複数回答あり)

会館運営上の課題	R4(150自治会)		R2(153自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
会館が老朽化しており、建て替えを検討している	10	6.7%	9	5.9%
改修を検討している	37	24.7%	35	22.9%
備品などの買い替えを検討している	30	20.0%	32	20.9%
維持管理費が負担になっている	39	26.0%	27	17.6%
その他	17	11.3%	20	13.1%
未記入	33	22.0%	45	29.4%

※問17で「自治会館がある」と回答した自治会に対する割合

※自由記載(主な回答を抜粋)

市役所の補助を受けながら維持を進めている。
会館が老朽化しているが、建て替えする予算がない。
冬の除雪費、草刈り等大変だが、今のところやりくりしている。
会館が老朽化しており、湿気が多く、維持管理費用が負担になってきている。また、会館の土地が借地であるうえ急傾斜地危険区域に指定されていることから、今後も含めて頭を悩ませている。
会館の建て替え予定はないが、今ある会館が老朽化してきており、その解体費用が多額となり問題となっている。
冷房設備がなく、夏場の集会に支障をきたしている。

自治会館運営上の課題について、「維持管理費が負担になっている」、「改修を検討している」、「備品などの買い替えを検討している」と回答している自治会の割合が多くなっています。

自治会館を所有していない自治会について

問21 自治会館の建設予定について

自治会館の建設予定について	R4(36自治会)		R2(34自治会)	
	自治会	割合	自治会	割合
建設する予定はない	32	88.9%	33	97.1%
建設する予定である	1	2.8%	0	0.0%
建設を検討しているが時期は未定	0	0.0%	1	2.9%
その他	1	2.8%	0	0.0%
未記入	2	5.5%	0	0.0%

※問17で「自治会館がない」と回答した自治会に対する割合

会館を所有していない自治会について、1自治会が会館の建設を予定しています。

問22 自治会活動(総会など)を行う拠点について

自治会活動を行う拠点について	R4(36自治会)		R2(34自治会)	
	自治会	割合	自治会	割合
会長・役員宅	7	19.4%	3	8.8%
公共施設(市民センターなど)	12	33.3%	12	35.3%
他の自治会館を借りている	2	5.6%	4	11.8%
神社	2	5.6%	3	8.8%
その他	12	33.3%	10	29.4%
未記入	1	2.8%	2	5.9%

※問17で「自治会館がない」と回答した自治会に対する割合

会館を所有していない自治会の活動拠点として「公共施設(市民センターなど)」と回答した自治会が多く、その他として「飲食店」、「ホテル」といった回答がありました。

自治会活動について

問23 自治会活動について

活動項目	①現在、継続して行っている活動			②今後、新たに行いたいと考えている活動	
		左の内、負担が大きいと思っている活動	左の内、他の自治会と連携して行っている活動	単独で行いたい活動	他の自治会と連携して行いたい活動
1. 住民への連絡	155	7	2	1	1
2. 広報の配付、市送付文書の回覧など	169	17	0	4	1
3. 地域清掃(クリーンアップ)	150	8	9	2	5
4. 市道の維持補修	71	17	3	2	2
5. 公園の管理	59	10	3	1	1
6. 農道・農地・農業用水路の管理	74	21	16	0	2
7. 堰根上げ・河川敷地の草刈り	92	24	11	0	3
8. 防犯活動(巡回活動)	27	0	1	9	7
9. 防災活動	69	3	4	13	12
10. 交通安全活動	79	0	5	3	5
11. 花壇づくり	63	4	3	3	2
12. 資源ごみの回収	66	3	1	4	5
13. 独居老人の訪問	50	4	0	6	2
14. 高齢者宅などの除雪	51	4	2	10	3
15. 敬老会	80	6	2	6	1
16. 運動会	44	13	11	1	1
17. スキー大会	12	3	4	0	1
18. 祭り・伝統行事など	87	12	16	2	4
19. 学習会など	21	0	3	0	1
20. 葬儀手伝い	51	1	3	2	1
21. 交流会	66	0	5	8	3
22. 子ども会	89	1	9	6	5
23. 学校行事への参加	16	1	2	0	3
24. 自治会報の発行	32	1	1	4	0
25. ホームページの開設	0	0	1	3	0
26. 募金(戸別訪問)	76	21	2	0	0
27. 行政機関への要望	82	2	4	2	1
28. コミュニティビジネス	2	0	1	3	0
29. その他	3	0	1	1	0

「①現在計継続して行っている活動」について、「2.広報の配付、市送付文書の回覧など」、「1.住民への連絡」、「3.地域清掃(クリーンアップ)」、「7.堰根上げ・河川敷地の草刈り」、「22.子ども会」、「18.祭り・伝統行事など」などが主なものとなっています。また、負担が大きいと思っている活動が多いものは「7.堰根上げ・河川敷地の草刈り」、「6.農道・農地・農業用水路の管理」、「26.募金(戸別訪問)」、「2.広報の配付、市送付文書の回覧など」、「4.市道の維持補修」ですが、これらの中には他の自治会と連携して行っているものもあります。

「②今後、新たに行いたいと考えている活動」については、単独では「9.防災活動」、「14.高齢者宅などの除雪」、「8.防犯活動(巡回活動)」などがあり、それらの中には「他の自治会と連携して行いたい活動」もありました。

問24 自治会を運営する上での悩みについて(複数回答あり)

運営する上での悩み	R4(188自治会)		R2(187自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
役員のなり手がいない	124	66.0%	124	66.3%
役員の負担が大きい	70	37.2%	56	29.9%
役員が高齢化している	89	47.3%	87	46.5%
未加入世帯が多い	10	5.3%	5	2.7%
予算が少ない	13	6.9%	16	8.6%
特定の人しか参加しない	60	31.9%	49	26.2%
世代間の交流が難しい	37	19.7%	42	22.4%
会員が無関心で協力・参加が得にくい	20	10.6%	28	15.0%
活動するための情報が不足している	5	2.7%	3	1.6%
活動中の事故が心配	17	9.0%	18	9.6%
他の地域や自治会との連携が弱い	13	6.9%	7	3.7%
その他	6	3.2%	12	6.4%
未記入	15	8.0%	13	7.0%

※「割合」は全自治会数に対する割合

※自由記載(主な回答を抜粋)

コロナ禍で2年間自治会行事が行われなかったため、行事を再開しても参加数が減っている。
役員が現役で仕事(会社勤務)をしているので、OBの協力が必要であるが、協力・参加が難しい。
役員の高齢化は仕方がない。現役で仕事を持っている人は負担が大きすぎる。
共働きの理念は理解しているつもりだが、市役所からの通知等が各課からは一つずつでも、自治会に来ると処理するのに難儀する数となっている。
会員の高齢化、若者及び中年層が不足しており、活動が低迷している。
行事等にはよく参加しているが、交流会などは不参加の方が年々多くなっている。

自治会を運営する上での悩みについて、「役員のなり手がいない」の割合が最も高く、6割以上となりました。また、前回調査から「役員の負担が大きい」「未加入世帯が多い」、「特定の人しか参加しない」の割合は増加し、「会員が無関心で協力・参加が得にくい」、「世代間の交流が難しい」の割合は減少しました。

問25 自治会での課題解決について(複数回答あり)

課題解決のために必要なこと	R4(188自治会)		R2(187自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
普段の付き合い	124	66.0%	128	68.5%
活動や趣味のグループづくり	27	14.4%	24	12.8%
祭りや行事の実施と参加	68	36.2%	69	36.9%
地域住民が地域の課題に関心を持つこと	75	39.9%	87	46.5%
会の情報を提供、共有すること	37	19.7%	44	23.5%
会の意思決定など、組織の運営を工夫すること	35	18.6%	24	12.8%
リーダーを育成すること	48	25.5%	50	26.8%
若い世代の参加	81	43.1%	83	44.4%
自治会の統廃合などの再編成	19	10.1%	15	8.0%
民生委員やPTAなど、他の組織との連携	20	10.6%	22	11.8%
その他	2	1.1%	8	4.3%
未記入	17	9.0%	3	1.6%

※「割合」は全自治会数に対する割合

※自由記載(主な回答を抜粋)

定年制など働き方が変わる中で、日中活動できる人が少ないのが実情だと思う。事業を縮小しながら、できることを無理せずにコンパクトな運営を心がけていくことだと思う。
少子高齢化に伴い、世代交代が進まない。若い世代の行事への参加などが年々減っている。
高齢者が多く、30代、40代、50代が少数のため、他町内との合併の検討が必要。
祭りや盆踊りなどの行事がなくなり、会員の結びつきが弱くなっている。これに代わるものを自治会内で設けるのは難しい状況である。

課題解決のために必要なことについて、前回調査と同様に「普段の付き合い」の割合が最も高くなりました。また、「若い世代の参加」、「地域住民が地域の課題に関心を持つこと」といった回答も多くありました。

問26 親交がある自治会などについて

親交のある自治会	R4		R2	
	自治会数	割合	自治会数	割合
はい	89	47.3%	87	46.5%
いいえ	84	44.7%	87	46.5%
未記入	15	8.0%	13	7.0%
計	188	100%	187	100%

※以下回答のあった自治会の回答内容を記載

【八幡平地区】

回答	親交のある自治会など	活動や行事
水沢	谷内より南側の4自治会	堰根上げ他
熊沢	水沢	運動会、防災訓練
永田	谷内	運動会
谷内	永田、熊沢、水沢	山林見廻り、水路管理
長嶺	川部	運動会
川部	長嶺	運動会、防災活動
大里	玉内、小豆沢	未記入
玉内	大里	八幡平地区の行事
夏井	長牛	養豚場の視察
長牛	夏井、大久保、桃枝	夏井:養豚場視察(年1回環境調査) 大久保・桃枝:テレビ共同受信(管理、経費負担)
桃枝	長牛	運動会、消防
白欠	長内	未記入
長内	白欠	用水路(防火)草刈り
三ヶ田	大久保、荒町	神社行事、体育協会行事
大久保	三ヶ田、荒町等	未記入
荒町	三ヶ田、大久保	神社の行事・管理、用水路脇の草刈り
黒沢	石鳥谷	消防団、子ども会、老人クラブ
石鳥谷	松館、黒沢	老人クラブ、運動会、協議会
松館	石鳥谷、黒沢	未記入

【尾去沢地区】

回答	親交のある自治会など	活動や行事
尾去	米代地区の自治会	未記入
下モ平	蟹沢、西道口、尾去	神社祭典、市民野球、グランドゴルフ、防災訓練
山方	軽井沢	子ども会
松子沢	軽井沢、山方	消防団、民生委員
中央通	瓜畑	子ども会の諸行事
軽井沢	山神社、山方	未記入
下新田	中新田	三ツ矢沢地区として資源保全会等
中新田	下新田	三ツ矢沢地域資源保全会活動、森づくり事業

【十和田地区】

回答	親交のある自治会など	活動や行事
下小路(下)	館、古町	子ども会
城ノ下	南部用水路組合	水路の管理、草刈り、清掃
中町	上町、下町	未記入
下町	上町、中町、川原	運動会、毛馬内盆踊り、民生委員
萱町	毛馬内地域開発懇話会	河川クリーンアップ、毛馬内祭り、七夕祭り、毛馬内盆踊り、南部用水路管理組合の活動
土ヶ久保	中野、陣場	運動会、堰根上げ、農道整備他
中野	土ヶ久保	運動会、堰根上げ
石野	土深井、松山、大欠	四自治会の交流
下芦名沢	上芦名沢	市道・農道の維持等
上芦名沢	下芦名沢	未記入
錦丁	古川	未記入
浜田	古川、根市戸	農道(市道)の刈払い
下野添団地	浜田	子ども会活動
根市戸	浜田	物見坂の刈払い
錦東	錦木地区	錦木を考える会、堰根上げ
松山	大欠、土深井、石野	未記入
大欠	松山、土深井、石野	役員の交流会を年1回行っている
土深井	松山、大欠、石野	未記入
荒瀬	中岱	祭り行事等
中岱	荒瀬	自治会館の共同使用管理
丁内	下ノ湯、川原ノ湯	下三町交流会
下ノ湯	丁内、川原ノ湯	下丁合同花見会、下三町演芸大会
川原ノ湯	下ノ湯、丁内	演芸会
二本柳	中草木	農作業(草刈り、農道補修等)、消防団活動
下草木	丸館、新田、砂派、中草木	草刈り、農道整備

【花輪地区】

回答	親交のある自治会など	活動や行事
上野	沢口一区、新田町三区	行政機関への要望事項
沢口一区	沢口二区、上野馬場	要望書の提出
新田町	新田町農家	未記入
新田町三区	新田町農家	未記入
新田町(農)	新田町、新田町三区	未記入
舟場町	舟場三区	地藏尊祭典、祭典
文化	谷地田町、舟場町、舟場町三区	小学校の通学、七夕祭、花輪ばやし(子ども)
谷地田町二区	谷地田町一区、坂の上	谷地田町若者会との協力
坂ノ上	谷地田町一区、谷地田町二区	お祭り
大町	中堰向	祭典、自主防災、子ども会
新町	横町袋丁、下堰向	お祭り、BBQ、総会への招待

回答	親交のある自治会など	活動や行事
横町袋丁	新町	子ども会、祭典
組丁	横丁	町おどり
中堰向	大町	花輪ばやし他祭事、防災
下堰向	新町	花輪ばやし、ねぷた
旭町一区	旭町二区、旭町三区	防災活動、花壇づくり、葬儀の手伝い、交流会、行政機関への要望
旭町二区	旭町一区、旭町三区	未記入
上旭町	上堰向、花輪駅西住宅	隣接自治会として、問題解決のため連携することがある
沢小路	川原町、組丁、横丁	頭首工の整備
小坂二区	小坂一区、小坂三区	自治会館共有、若者会・婦人会・老人クラブが一緒運動会、祭典、どんと祭も合同自治会活動として行っている
小坂三区	小坂一区、小坂二区	クリーンアップ、チャレンジデー、3地区合同運動会、祭典、どんと祭
古館	東山、案内、東山住宅	未記入
鏡田	小深田	民生委員の選出等
用野目	西山地区連絡協議会	西山地区全体に関する要望等や災害等の協力体制
下川原	西山地区自治会6地区	各種役員の選出
高屋	下川原、狐平、用野目、鏡田、花軒田	各種行政役員の選出
鶴田	上台、長野、高市	4ヶ自治会協議会、市役所への陳情
西町	東町	未記入
東町	西町	神社の管理
新斗米	小平	未記入
高市	上台、長野、鶴田	環境整備の巡回
長野	上台、高市、鶴田	御嶽山神社の参道草刈り等、陳情案件視察巡回、交流会
上台	長野、高市、鶴田	4ヶ自治会協議会
寺坂	平元コミュニティ	夏祭り、スノーキャンドル
小枝指	館	神社行事
館	小枝指	民生委員活動、神社関連
級ノ木	菩堤野	未記入

親交のある自治会の有無については、前回調査とほぼ同様となりました。協力・連携して行っている活動や行事については、クリーンアップや草刈りなどの環境整備活動、運動会や祭りなどの交流行事や伝統行事が多くみられました。

問27 自治会の統合・再編について

自治会の統合・再編について	R4		R2	
	自治会数	割合	自治会数	割合
必要だと思う	26	13.8%	27	14.4%
必要だと思わない	67	35.7%	50	26.8%
今は必要ないがいずれは必要かもしれない	85	45.2%	87	46.5%
その他	0	0.0%	3	1.6%
未記入	10	5.3%	20	10.7%
計	188	100%	187	100%

統合・再編先の想定自治会	R4(26自治会)		R2(27自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
想定先がある	15	57.7%	12	44.4%
想定先はない	11	42.3%	15	55.6%

※「統合・再編が必要だと思う」と回答した自治会に対する割合

統合・再編に向けた協議	R4(26自治会)		R2(27自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
行っている	0	0%	1	3.7%
自治会内で検討中	3	11.5%	5	18.5%
行っていない	22	84.6%	20	74.1%
未記入	1	3.9%	1	3.7%

※「統合・再編が必要だと思う」と回答した自治会に対する割合

統合・再編に向けた課題(複数回答あり)	R4(26自治会)		R2(27自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
自治会財産の取扱い	11	42.3%	11	40.7%
自治会同士が離れている	4	15.4%	1	3.7%
規約や会費の違い	9	34.6%	16	59.3%
組織が大きくなることでの役員の負担増	6	23.1%	4	14.8%
伝統行事の存続	4	15.4%	5	18.5%
その他	4	15.4%	2	7.4%
未記入	6	23.1%	6	22.2%

※「統合・再編が必要だと思う」と回答した自治会に対する割合

自治会の統合・再編について、前回調査と同様に「今は必要ないがいずれは必要かもしれない」の割合が最も高くなりました。また、統合・再編に向けた課題として「自治会財産の取扱い」、「規約や会費の違い」と回答した自治会が多くなりました。

自治会運営によるIT化について

問28 自治会連絡のSNSなどの活用について

自治会連絡のSNSなどの活用の有無	R4	
	自治会数	割合
している	23	12.2%
していない	160	85.1%
未記入	5	2.7%
計	188	100%

自治会連絡のSNSなどの活用については、8割以上の自治会が「活用していない」と回答しました。

利用している手段(複数回答あり)	R4(23自治会)	
	自治会数	割合
メール	15	65.2%
SNS	14	60.9%
自治会向け専用アプリ	0	0.0%
その他	2	8.7%

※「している」と回答した自治会に対する割合

利用している手段について、「メール」と「SNS」の利用がどちらも6割以上となりました。

問29 ITを活用している取り組みについて(複数回答あり)

ITを活用している取り組みについて	R4(188自治会)	
	自治会数	割合
オンラインでの役員会議	1	0.5%
会議など出欠確認のネット化	8	4.3%
災害時など安否確認の実施	4	2.1%
自治会会費などの集金の電子決済	1	0.5%
電子回覧板、ホームページなどの掲示板	1	0.5%
その他	2	1.1%
未記入	173	92.0%

※「割合」は全自治会数に対する割合

ITを活用している取り組みについて、割合が最も高い「会議など出欠確認のネット化」でも1割未満となり、ITの活用が進んでいないことが分かりました。

問30 IT化を進める上での課題について

IT化を進める上での課題の有無	R4	
	自治会数	割合
ある	130	69.1%
ない	24	12.8%
未記入	34	18.1%
計	188	100%

IT化を進める上での具体的な課題について(複数回答あり)	R4(130自治会)	
	自治会数	割合
電子機器の取扱いが不慣れな人が多い	111	85.4%
機器を保有していない	105	80.8%
その他	1	0.8%
未記入	3	2.3%

※「ある」と回答した自治会に対する割合

※自由記載(主な回答を抜粋)

光回線等のネット環境がない。
高齢化でスマートフォンやパソコンの所有者が少ない。
全世帯でスマートフォンを使いこなす人がいないと難しい。

IT化を進める上での具体的な課題について、「電子機器の取扱いが不慣れな人が多い」、「機器を保有していない」がどちらも8割以上となっています。その他として、「ネット機器が整備されていない」といった回答がありました。

問31 IT化を進める際に期待する市の支援制度について(複数回答あり)

市の支援制度について	R4(188自治会)	
	自治会数	割合
自治会館への整備費用補助	71	37.8%
講習会の実施	52	27.7%
アドバイザーなどの派遣	42	22.3%
その他	9	4.8%
未記入	90	47.9%

※「割合」は全自治会数に対する割合

※自由記載(主な回答を抜粋)

高齢者へのスマートフォンなどの講習会。
ホームページの作成方法、高齢者宅への伝言機器。
どの程度IT化が進んでいるか分からないが、実施している地域の話を経後のために聞いてみたい。

IT化を進める際に期待する市の支援制度について、「自治会館への整備費用補助」を希望する声が最も多くなっています。

自治会への加入について

問32 自治会への加入率について

自治会加入率	R4		R2	
	自治会数	割合	自治会数	割合
全戸加入している	80	42.5%	93	49.8%
90%程度	62	33.0%	51	27.2%
90%未満～80%以上	21	11.2%	20	10.7%
80%未満～50%以上	17	9.0%	11	5.9%
50%未満	0	0.0%	2	1.1%
未記入	8	4.3%	10	5.3%
計	188	100%	187	100%

自治会の加入率について、4割以上の自治会が「全戸加入している」と回答しており、「90%程度」と合わせた割合は7割以上となりましたが、「80%未満～50%以上」の割合が増加し、自治会加入率の低下が見られます。

問33 居住区域に住んでいない会員について

自治会区域内に住んでいない会員の有無	R4		R2	
	自治会数	割合	自治会数	割合
はい(住んでいない会員がいる)	65	34.6%	65	34.8%
いいえ(住んでいない会員がいない)	112	59.6%	113	60.4%
未記入	11	5.8%	9	4.8%
計	188	100%	187	100%

自治会区域内に住んでいない会員の有無について、前回調査と同様に、「はい」(住んでいない会員がいる)の割合は、3割以上となっています。

問34 加入促進の取り組みについて(複数回答あり)

加入促進の取組	R4(188自治会)		R2(187自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
自治会で作成したポスターやチラシを配付するなど啓発に努めている	7	3.7%	6	3.2%
戸別訪問して加入を呼びかけている	46	24.5%	39	20.9%
特に何もしていない	101	53.7%	105	56.1%
その他	3	1.6%	6	3.2%
未記入	33	17.6%	31	16.6%

※「割合」は全自治会数に対する割合

加入促進の取組について、前回調査と同様に、「特に何もしていない」の割合が5割以上となっています。また、「戸別訪問して加入を呼びかけている」の割合は増加しています。

自治会の連合組織について

問35 地区連合組織(自治会の連合体)への加入について

地区連合組織	R4		R2	
	自治会数	割合	自治会数	割合
加入している	81	43.1%	82	43.9%
加入していない	79	42.0%	76	40.6%
加入を検討している	0	0.0%	1	0.5%
組織がない	17	9.0%	15	8.0%
未記入	11	5.9%	13	7.0%
計	188	100%	187	100%

問36 地区連合組織の必要性について

地区連合組織	R4		R2	
	自治会数	割合	自治会数	割合
必要である	92	48.9%	91	48.7%
必要でない	68	36.2%	69	36.9%
未記入	28	14.9%	27	14.4%
計	188	100%	187	100%

地区連合組織への加入や地区連合組織の必要性について、前回調査と同様に、4割以上の自治会が加入しており、約半数が「必要である」と回答しました。

問37 地区連合組織の役割について(複数回答あり)

連合組織の役割	R4(188自治会)		R2(187自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
行政への要望書提出	55	29.3%	54	28.9%
行政から自治会への各種依頼、事業協力の調整	22	11.7%	22	11.8%
自治会相互の連携事業や連絡調整	55	29.3%	46	24.6%
加入していないのでわからない	65	34.6%	66	35.3%
その他	2	1.1%	2	1.1%
未記入	30	16.0%	31	16.6%

※「割合」は全自治会数に対する割合

地区連合組織の役割について、「行政への要望書提出」、「自治会相互の連携事業や連絡調整」の割合が高くなりました。その他には、「組織はないが、必要に応じて関係自治体と協議し、問題解決などにあたっている。」といった回答がありました。

地域づくり協議会等について

問38 市民センター事業について

センター行事への参加	R4		R2	
	自治会数	割合	自治会数	割合
ある	75	39.9%	94	50.3%
ない	104	55.3%	84	44.9%
未記入	9	4.8%	9	4.8%
計	188	100%	187	100%

1年間の市民センター行事への参加について、コロナ禍による行事の中止に伴い、「ある」の割合が減少しています。

参加した事業(複数回答あり)

参加行事	R4(75自治会)		R2(94自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
市民運動会	26	34.7%	64	68.1%
市民スキー大会	12	16.0%	22	23.4%
子ども会行事	32	42.7%	51	54.3%
各種講演会	28	37.3%	40	42.6%
文化事業	33	44.0%	43	45.7%
その他	17	22.7%	9	9.6%
未記入	2	2.7%	—	—

※「ある」と回答した自治会に対する割合

参加した市民センター行事について、全体的に参加した割合が減少しています。

問39 地域づくり協議会等に期待することについて(複数回答あり)

地域づくり協議会に期待すること	R4(188自治会)		R2(187自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
自治会活動の支援	60	31.9%	56	29.9%
生涯学習に関する各種学級・講座の開催	17	9.0%	22	11.8%
芸術、文化、スポーツなど趣味的な事業の開催	27	14.4%	23	12.3%
生涯スポーツを通じて健康づくりと親睦を深める事業の開催	30	16.0%	23	12.3%
自治会向けの講座の開催	35	18.6%	19	10.2%
このままでよい	64	34.0%	67	35.8%
その他	6	3.2%	4	2.1%
未記入	22	11.7%	26	13.9%

※「割合」は全自治会に対する割合

地域づくり協議会等に期待することについて、前回調査と同様に「このままでよい」の割合が最も高くなっています。また、「自治会活動の支援」、「自治会向けの講座の開催」の割合が増加しており、自治会への支援を期待していることがわかります。

広報等配付物の配付状況や取り扱いについて

問40 広報等配付物の範囲について

広報配付範囲	R4		R2	
	自治会数	割合	自治会数	割合
自治会加入世帯のみ	114	60.6%	119	63.7%
自治会未加入世帯を含む	65	34.6%	54	28.9%
その他	0	0.0%	4	2.1%
未記入	9	4.8%	10	5.3%
計	188	100%	187	100%

広報などの配付範囲について、「自治会加入世帯のみ」および「自治会未加入世帯を含む」を加えた割合は9割を超えています。自由記載で、「アパート住居者」、「薬局」、「交通協会」といった回答がありました。

問41 広報の配付方法について

配付方法	R4		R2	
	自治会数	割合	自治会数	割合
会長または配付担当員が仕分けして配付	45	23.9%	44	23.5%
会長または配付担当員が仕分けして班長などが配付	125	66.5%	121	64.7%
会館などに設置し、会員が各自取りに来る	2	1.1%	0	0.0%
その他	9	4.8%	16	8.6%
未記入	7	3.7%	6	3.2%
計	188	100%	187	100%

広報の配付方法について、「会長または配付担当員が仕分けして班長などが配付」の割合が最も高く、仕分けと配付で役割分担をしている自治会が多数ありました。その他として、「役員会で仕分けし、班長が配付」といった回答がありました。

問42 広報以外の配付物について

チラシなどについて	R4		R2	
	自治会数	割合	自治会数	割合
これまで通りでよい	65	34.6%	68	36.4%
減らしてほしい	63	33.5%	63	33.7%
広報に全てまとめてほしい	45	23.9%	44	23.5%
その他	5	2.7%	3	1.6%
未記入	10	5.3%	9	4.8%
計	188	100%	187	100%

広報以外の配付物(チラシなど)について、「これまで通りでよい」の割合が最も高くなりましたが、「減らしてほしい」、「広報に全てまとめてほしい」の割合の合計が5割を超え、広報以外の配付物が多いと感じている自治会が多数ありました。

問43 広報等配付物の取り扱いに関する意見・要望について(主な回答を抜粋)

配付物の日をもう少し早くしてほしい(仕分けに3~4時間かかる)。
高齢化が進んでいるので、紙面での周知がいいと思う。
市広報で紹介されている事業等が回覧でも資料が届く。
このコロナ渦で回覧を嫌がる方もいる。極力回覧を減らしてほしい。(回覧板はその都度消毒している)
見ないで捨てる方がいるらしい。高齢者が多いので、実際にどれくらいの方が広報に目を通していいのかは分かりません。
ポスター掲示について、掲示期間が残っているのに次のポスターが配付されて、重ねて掲示しなければならない状態なので、広報に載っているものであれば必要ないと思う。
高齢者世帯が多いので、広報以外の配付物については文字を減らし、イラストや写真を多くしたほうが良い。
回覧でも情報を伝えられるものは回覧にして、戸別配付量を減らした方がエコ。
届くのが夜遅い時間のことが多い。早めに届けてもらいたい。

広報等配付物の取り扱いに関する意見・要望について、「配付物の種類が多い」という意見が多くありました。

防災について

問44 自主防災組織について

自主防災組織	R4		R2	
	自治会数	割合	自治会数	割合
結成している	87	46.3%	89	47.6%
結成を検討している	12	6.4%	17	9.1%
検討していない	84	44.7%	75	40.1%
未記入	5	2.6%	6	3.2%
計	188	100%	187	100%

自主防災組織について、前回調査とほぼ同様の結果が出ていますが、「結成を検討している」自治会の割合が減少しました。

問45 防災訓練について

防災訓練の実施	R4		R2	
	自治会数	割合	自治会数	割合
実施している	60	31.9%	68	36.4%
実施していない	116	61.7%	108	57.7%
未記入	12	6.4%	11	5.9%
計	188	100%	187	100%

防災訓練について、前回調査から「実施している」の割合が減少しました。回数については、「1回」が最も多く、「数年に1回」、「11回」という回答もありました。

問46 緊急連絡体制の整備について

緊急連絡体制の整備	R4	
	自治会数	割合
整備している	101	53.7%
整備していない	78	41.5%
未記入	9	4.8%
計	188	100%

緊急連絡体制の整備状況について、5割以上の自治会で「整備している」と回答がありました。

問47 市のメール配信システムについて

情報メール	R4		R2	
	自治会数	割合	自治会数	割合
すでに登録済み	106	56.4%	104	55.7%
今後登録したい	53	28.2%	61	32.6%
登録は難しい	16	8.5%	12	6.4%
未記入	13	6.9%	10	5.3%
計	188	100%	187	100%

市の情報メール配信システムについて、「すでに登録済み」と回答した会長の割合は前回調査とほぼ同様となっています。多くの住民に素早く様々な情報を発信できる情報メールですが、自由記載欄では「関係のない配信が多い」などの意見がありました。

市の情報メール配信システムは、必要な情報だけを受信できるよう設定することも可能ですので、ご不明な点につきましては、総務課危機管理室までお問い合わせください。

問48 自治会区域内の危険な場所について

危険箇所	R4		R2	
	自治会数	割合	自治会数	割合
ある	72	38.3%	81	43.3%
ない	97	51.6%	91	48.7%
未記入	19	10.1%	15	8.0%
計	188	100%	187	100%

※「ある」場合の具体的な場所

会館はじめ、急傾斜地や土砂災害、河川増水による浸水の可能性が高い地域が複数箇所ある。
指定急傾斜地区(沼田)。
水路の越水(萱町上部)住宅地に泥・土砂が堆積する。
豪雨による建物崩壊。
山林下部(建物)への土砂崩れ。
米代川護岸及び護岸沿いの地区。
これまでも床上浸水及び護岸が崩れる被害があり、危険と感じる。
大地平公園に行く道路(市道)。
県道字タタラ地内の土砂崩れ(斜面)。
字浦田地内のカーブがきつい(冬期間のすべり事故など)。

八幡神社の階段。
自治会内を大堰が流れていて、そのフェンスが破損していて転落等の事故が心配。
墓地裏のがけ、崩れかけている。
除雪による道路幅減少で、通学する子どもたちが車道を歩かなければならず、危険。
自治会内の排水溝、集水桝の不具合等、老化・破損がある。
大雨が降ると土砂災害が懸念される。過去に新堀との間で起きているので怖い。
クマの出るところがある。
当地区は路地から周回道路に出るが、見通しが悪く大変危険を感じる。
ハザードマップ内の土砂災害危険区域。
空き家(動物等の住処となっていないか心配)。
坂の石垣、立木。
関上自治会の排水路の決壊。
寺の坂の側面の木、雨が多く降ると倒れてくる。
自治会内に JR 花輪線の踏切が2か所ある。昔から事故が多数発生している箇所である。
大雨等による浸水または堤防決壊による浸水。
根市戸、畑へ行く道路、作り坂(市道)。
側溝が壊れ、降雨時水が溢れ道路が崩れかけている。
ため池。
米代川に近いので、近年の災害多発時において、予想できないような災害が発生する恐れがある。
大雨の場合、土深井沢川が氾濫した場合ほぼ全戸に水が流れる。この水は旧尾去沢鉱山の毒を含んでいるので厄介である。
自治会内の土砂災害警戒区域・特別警戒区域に指定されている場所。
土石流危険箇所があり、前に大雨の際、土砂が県道まで流れ出たことあり。
地区全域が土砂災害危険箇所に該当する
在郷坂川の土石流の危険など。
鹿倉山の急傾斜地の土石流の危険など。
山側が土砂災害特別警戒区域になっている。
洪水浸水想定区域になっている。
神社より上の道路の側溝に土砂が堆積して大雨の時側溝から水があふれて、土砂災害の危険がある。
ため池、防護柵がない。
沢口融雪道路の故障による交通事故の発生及び通学路としての危険性。なぜ毎年のように故障が起こるのか安全点検の不十分さを疑います。
新田町から高井田住宅にかけて東側斜面のほとんどが危険区域になっており、自治会館も含まれるため、避難所として使用できないのが高齢者には大変不便である。
崖の地滑り。
大町東側の小学校下の法面。
秋田銀行前道路は大雨になると水路が増水する。
多量の降雨の際、花輪小学校館坂の用水路、通学路。
民俗資料館横の側溝の水が道路に流れている。
除雪によって歩道、交差点に残された雪。
長橋医院付近の水路が深く、柵も何もない。
米代川の氾濫の恐れがある。

花輪中学校の通学路(小玉鐵工務店前)の崖。
富士川流域、増水で冠水の恐れのある家がある。
災害時の避難道路がない。
空き家などが壊れてきてトタン板や木材などが雨風により飛んだりして危険なことが今までも何度もある。
米代川を山に向かうところに一戸あり、その後ろの法面の崩落が心配である。
旧米代保育園方面から自治会内方面に曲がり切れず、年に何台か田んぼや堤防道路に入る車両がある。特に冬期間。
西山農免道路(久保田橋から自治会入口)の除草がされていなく、車が通行するのに危ない。
空き家がつぶれかけていて、危険。
柴平小学校グラウンド側の水路があるが、柵がないためかなり危険。
農道、市道への倒木。

自治会区域内の危険な場所について、「ある」の割合が前回調査から減少しましたが、大雨による災害や交通安全に対する不安が多く挙げられています。

自治会を支援する制度について

問49 自治会振興交付金について

交付額＝基本額(24,600 円～33,400 円)＋広報を配付する世帯対応額(600 円×世帯数)
(例) 50 世帯の場合 25,800 円＋600 円×50 世帯＝55,800 円

自治会振興交付金について	R4		R2	
	自治会数	割合	自治会数	割合
現状のままでよい	154	81.9%	158	84.5%
見直しをしてほしい	21	11.2%	14	7.5%
未記入	13	6.9%	15	8.0%
計	188	100%	187	100%

※自由記載(主な回答を抜粋)

年々減少していくため、最低限の額を決められないか。減少に合わせて掛け算では、会費を上げないと維持が難しい。例)50 戸以上は現行通り、50 戸未満は 60,000 円とか。
自治会にとっては最適な財源のため、続けてほしい。
基本額の見直し。自治会の活動を支えるのであれば、世帯数が少ない世帯数のところほど基本額を高くし、住民の負担を軽減するのが望ましい。
世帯数の減少により会費収入も減り、維持が難しくなりつつある。
増額を検討してほしい。
世帯対応額は1月あたり 50 円(600 円/12 か月)、子どもの駄賃にも満たないのでは。
物価が上がってきているので来年度は多少アップしても良いのでは。

自治会振興交付金の内容について、8割以上が「現状のままでよい」と回答していますが、見直しを求める意見もあります。

問50 自治会元気づくり応援補助制度について

福祉事業、環境整備事業、文化事業、交流事業などの主に活動費に対して補助金を交付します。会員世帯数が 30 世帯以下の場合には補助率4分の3、限度額 15 万円。それ以外の自治会は補助率2分の1、限度額は 10 万円です。
※利用年度を含めて3年間の制限を設けています。他の自治会との公平性を保つ観点から、制限についてご理解願います。

自治会元気づくり応援補助制度について	R4		R2	
	自治会数	割合	自治会数	割合
現状のままでよい	156	83.0%	148	79.1%
見直しをしてほしい	12	6.4%	20	10.7%
未記入	20	10.6%	19	10.2%
計	188	100%	187	100%

※自由記載(主な回答を抜粋)

1 回使用すると数年使えない。
世帯数の拡大により事業の計画につながる。
世帯数が多くても補助率を高くしてほしい。
世帯数が少なくなると町内の予算も少なくなり、環境整備ができない。毎年の交付をお願いしたい。
補助率を世帯数に関係なく4分の3、15 万円にしてもらいたい。
増額してほしい。

自治会元気づくり応援補助制度について、8割以上が「現状のままでよい」と回答し、その割合も前回調査より増加しています。

問51 自治会館建設事業費補助制度について

自治会館の新増築や改修に対して補助金を交付します。新築は、会館規模に応じて補助金を算定し、補助率は概ね 30%以内です。改修は、補助率2分の1、限度額は 50 万円または 100 万円です。
※改修の場合、限度額 50 万円の場合は5年間、限度額 100 万円の場合は 10 年間の制限を設けています。他の自治会との公平性を保つ観点から、制限についてご理解願います。

自治会館建設事業費補助制度について	R4		R2	
	自治会数	割合	自治会数	割合
現状のままでよい	135	71.8%	132	70.5%
見直しをしてほしい	25	13.3%	30	16.1%
未記入	28	14.9%	25	13.4%
計	188	100%	187	100%

※自由記載(主な回答を抜粋)

手続きの簡略化に努めてほしい。
補助率を上げてほしい。
会館が築 30 年になり、今後利用したいため続けてほしい。
年度内に改修が必要な場合、補助制度が利用できるようにしてほしい。
材料・資材の高騰などでの上乗せをお願いしたい。
前回の補助利用からの利用制限の期間を短くしてほしい。
会館の新築を検討中だが、町内の予算も少なく個人負担が多くなりそう。限度額をあげてほしい。
現行の補助額では個人負担が大きすぎて新築は不可能。
少子高齢化社会においては、新築から改修・解体に重点を移してほしい。
補助率を3分の2か4分の3にしてほしい。

自治会館建設事業費補助制度について、「現状のままでよい」と回答した自治会は前回調査とほぼ同様ですが、「見直しをしてほしい」内容として「限度額・補助率の増加」、「改修事業の利用制限期間の見直し」、「資材の高騰による補助金の上乗せ」といった意見がありました。

問52 集落活動応援事業(旧 自治会コミュニティ再生応援事業)の利用について

規模の小さい自治会(概ね 50 世帯以下)を対象に、自治会の活力再生のための活動事業と、その準備段階である活動計画策定事業に対して補助を行います。計画策定事業は補助率 10 分の 10、限度額 10 万円。活動事業は補助率 10 分の 10、限度額 50 万円です。2つ以上の自治会が連携して事業を行う場合は活動事業の補助限度額が 100 万円になります。

集落活動応援事業の利用について	R4		R2	
	自治会数	割合	自治会数	割合
利用したいと思う	54	28.7%	38	20.4%
利用したいと思わない	56	29.8%	36	19.2%
対象外のためどちらでもない	48	25.5%	77	41.2%
すでに利用している	7	3.7%	—	—
未記入	23	12.3%	36	19.2%
計	188	100%	187	100%

集落活動応援事業の利用について、約3割の自治会が「利用したいと思う」と回答し、対象となる自治会の約半数ありました。

集落活動応援事業は集落支援員によるサポートを行っておりますので、生活環境課までお問い合わせください。

問53 集落支援員活動事業の活用について

自治会と協力しながら「状況調査」を実施し、調査結果を基に自治会の現状や課題、将来の自治会像などの「話し合い」を行い、それぞれの自治会の状況に応じた「活性化の取組」を支援します。

集落支援員活動事業の活用について	R4		R2	
	自治会数	割合	自治会数	割合
活用したいと思う	41	21.8%	29	15.5%
活用したいと思わない	83	44.1%	73	39.0%
話を聞いてみたい	31	16.5%	38	20.4%
すでに活用している	6	3.2%	6	3.2%
未記入	27	14.4%	41	21.9%
計	188	100%	187	100%

集落支援員活動事業について、「活用したいと思う」、「話を聞いてみたい」を合わせた割合は約4割となっています。今後も各自治会長を訪問し、集落支援員活動事業について周知する予定ですので、ご協力をお願いします。

問54 地域づくりリーダー研修会への要望について

毎年、地域コミュニティのさらなる活発化及び課題解決のため、自治会長などを対象に講演や活動報告を行っています。

令和3年度は、大館市御坂町内会による自治会への女性の参画に関する講演と本市集落支援員による活動報告を実施しました。

令和4年度は、尾去沢地区蟹沢自治会による自主防災組織に関する講演と本市集落支援員による活動報告を実施しました。

※自由記載（主な回答を抜粋）

自治会会員が減少しているが、将来的に自治会の存続が危ぶまれる。会員数が減少している中でも活力のある自治会の紹介事例などがあれば、講演会を開催していただきたい。

自治会会員の活性化、盛り上げる知恵・工夫等。

SDGsに関わる自治会活動の紹介。

2年度、3年度の講演を聞き、当町内では動き始めようと話し合いも始めている。女性の参画は今後非常に大事だと思うため、上記の講演をもう少し続けてもらいたい。

役員だけでなく若い自治会の人たちが興味を持って参加したくなるような研修会もあればと思います。

ホームページ、SNSをうまく活用している自治会との連携。

気象災害研修会等。

鹿角市内の自治会活動の紹介。

地域づくりリーダー研修会への要望について、「若い人たちが参加できるような内容にしてほしい」といったものや、「市内自治会の取り組み紹介」など、様々な要望がありました。今後も、自治会の課題解決の一助となるよう研修会を開催しますので、ご参加くださいますようお願いいたします。

問55 新たに自治会を応援する支援制度などの意見・要望について

※自由記載(主な回答を抜粋)

空き家問題の対策に係る支援。
集落文化の継承支援制度。
生活に定着した要望事項に早期に対応していただきたい。以前よりは良くなっていると感じていますが、予算の問題が一番だと思うので、年度予算にある程度対応できる金額を設けることはできないか。
ホームページ作成の研修や設備、運用支援制度。

自治会を応援する新たな取組や支援制度について、「IT化に関する支援制度」、「文化継承に関する支援制度」などの要望がありました。

自治会の特徴・魅力・課題などについて

問56 自治会のシンボル・資源・誇りにについて(複数回答あり) ※「割合」は全自治会に対する割合

自治会のシンボル・資源・誇りに思うもの	R4(188自治会)		R2(187自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
自然環境	58	30.9%	52	27.8%
街並み・建物	9	4.8%	12	6.4%
温泉	7	3.7%	8	4.3%
祭り	33	17.6%	35	18.7%
郷土芸能	24	12.8%	29	15.5%
伝統工芸	1	0.5%	1	0.5%
遺跡・史跡	15	8.0%	10	5.3%
特産物	6	3.2%	3	1.6%
水資源	11	5.9%	8	4.3%
動植物	3	1.6%	1	0.5%
郷土料理	4	2.1%	2	1.1%
産業	0	0.0%	2	1.1%
その他	11	5.9%	10	5.3%
未記入	76	40.4%	76	40.6%

※具体的にどのようなものがあるか

八幡平神社例大祭(先祓舞)
大日堂舞楽
湯瀬溪谷、唐傘松(市指定天然記念物)と姫子松
杉村楚人冠によって「湯瀬の松風」という詩に読まれている。
温泉ふれあいセンター
湯瀬温泉祭り(約 150 人、各地域から集まり楽しんでいる)。
湯瀬神明社先祓舞(市指定文化財)
民謡「湯瀬音頭」、「湯瀬小唄」
山の地下水を簡易水道に利用。
菅原神社祭典

神楽(郷土芸能)、寺、神社
住民のつながり
サロン、わいわいランチ活動が素晴らしい。自主防災訓練も 20 年近くになる。
尾去沢鉱山、山神社祭典
市民センター事業の一環として「花のまちづくりコンクール」に参加をして環境美化に取り組んでいる。
ヒバ垣
月山神社祭典
川原大神楽(市指定文化財)
毛馬内祭典の町内廻り、七夕祭の町内廻り、大太鼓(虫送り、豊作祭)
ある程度整備された田園風景、青年会による大太鼓など。
ゴルフ練習グラウンド、桜並木
堤防の桜
金精神社
古川大太鼓
神社内にある大ケヤキ、バス図書館
綱納め行事である裸参り（市指定文化財）
下ノ湯共同浴場
大湯ばやし、大湯大太鼓(市指定文化財)
鹿倉城跡、薬師神社、相馬大作壮図の碑、桂井戸
ケヤキ(樹齢推定 300 年)
シロと佐多六
花輪ばやし、町踊り
小さい自治会ですが、まとまりが良いこと。自治会総会では、16 世帯中 10～12 世帯が集まる。自治会内でコミュニケーションが十分に取れているのではないかな。
アーケード商店街、花輪ばやし
上中島街区公園
きりたんぽ
ホタルがいる
駒踊り
湧水沼におけるトゲウオ(市指定天然記念物)の生息
十一面観世音社(市指定文化財)
内閣総理大臣表彰を受賞した花壇
七ツ館
観光農園
漬物、アップルパイ
大太鼓、りんご

自治会のシンボル・資源・誇りに思うものについて、前回調査と同様に「自然環境」の割合が最も高く、次いで「祭り」や「郷土芸能」の割合も高くなりました。

問57 自治会内の課題について(複数回答あり) ※「割合」は全自治会に対する割合

現在の自治会の課題	R4(188自治会)		R2(187自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
地域や集落の景観保全	20	10.6%	17	9.1%
地域安全・防犯・防災	46	24.5%	53	28.3%
河川・水路・水源の維持管理	49	26.1%	46	24.6%
地域文化の継承・保存	32	17.0%	37	19.8%
公園・道路の維持管理	36	19.1%	27	14.4%
空き家等の適正管理	86	45.7%	80	42.8%
一人暮らし高齢者世帯の増加	118	62.8%	112	59.9%
ごみや騒音などの環境問題	11	5.9%	6	3.2%
自治会の存続	37	19.7%	31	16.6%
自治会活動の停滞	45	23.9%	28	15.0%
会員数の減少	95	50.5%	85	45.5%
その他	7	3.7%	4	2.1%
未記入	19	10.1%	23	12.3%

※自由記載(主な回答を抜粋)

伝統文化の継承者が少ない。
市道沿い水路や路面の壊れ。
新型コロナウイルスによる感染拡大により、自治会の行事がことごとく中止や縮小されていて、いつになったら従来通りに実施できるか不明。会員の高齢化によって自治会内に活気がない。
若い人(30～40代)たちとの連携がない
生活周辺の空き地の管理(荒地化している)。
生ごみへのカラス公害。
会員数が少なく、会員の平均年齢が高い。
若者が少ない。
自治会館の解体費用の捻出。
不耕作地の管理。

自治会の課題については、「一人暮らし高齢者世帯の増加」の割合が最も高く、6割以上の自治会で課題として捉えています。次いで「会員数の減少」、「空き家の適正管理」の割合が高くなっています。また、前回調査と比べ、「自治会活動の停滞」、「公園・道路の維持管理」の割合が増加しています。

問58 その他自治会に関する要望や意見などについて(主な回答を抜粋)

自治会に関しての要望や意見
クマの対策。
アンケートを市の HP などからでも回答入力ができるようにしてほしい。
集金などの寄附が多く大変。
動物対策に困っている。クマ及びイノシシが増えており、集落内にも出没してきている。作物に被害が出ている状況。
空き家が増えてきて冬の除雪が心配。屋根からの雪が下りてくると道路をふさいでしまう。昨年度までは業者をお願いをして、ボランティアで片づけをしてもらった。今後できないとのことで、どうしたらいいか考えている。
生活を楽しく豊かな心をはぐくむ地域のまとまりというよりも、定められた行政上の地域のまとまりでの受け身的な態度での活動のとらえ方、参加の仕方になりがちなので、かつての世代ごとの活動の豊かさの遺産の中で持続可能なものをきっかけに、子どもから高齢者が関わりあった活動へとレベルアップを図っていききたいものである。
空き家が年々増加している。今後この問題を解決するため、どのような対策法があるのか知りたい。
高齢化は進んでいるが、地元のサークル団体として今のコミュニケーション仲間を大切にしたい。
毎月自治会だよりを発行、班長会議で今月の予定や動向等を話し合い、広報と共に配付しており、今月で 140 号になる(令和4年8月現在)。自治会の良いところは、毎月各班長 20 名と役員が集まり、班の苦情や自治会の行事に対する取り組みを話し合っていること。
防災ラジオの有効活用について、緊急事態が起きないように願うが、テスト放送だけで、なにも活用できない。身近な災害でも(クマ出没、火災、事故、地震等)放送してもらいたい。
同じ人が何年も役員を続けなければならない状況が続いており、とても疲れております。
世帯主や世帯の人数等調べようがない。市からも会長あての通知がなくなり、ますます分からない。数年前に全世帯に調査をお願いしたが、全世帯の理解は得られず、正確な数値がつかめない。